

新生徒会役員決まる

これから十一中を担う皆様へ

前期生徒会長 溝口 拓郎

僕は1年生の9月から2年生の9月まで生徒会副会長、2年生の9月から3年生の9月まで生徒会長として生徒会に2年間所属していました。そして、多くの学校行事等に関わってきました。「最高の学校に一步踏み出せ」これは最後の1年間掲げてきたスローガンです。最高の学校にするためにやってきた中で、1番意味があり印象に残っているのは生徒会委員会改訂案です。何回も話し合い決めました。新しい委員会の下で、この先十一中はより最高の学校になっていくと思います。そして現生徒会。さらにはその後の生徒会にも学校の問題点を見つけ解決し、最高の学校にして行ってもらいたいです。

一人一人が活躍できる学校へ

後期生徒会長 山崎 賢太郎

後期になってどの部活動、委員会でも3年生から2年生へとバトンが渡されました。委員会改訂案が出て、大きく学校が変わっていきます。そんな中で僕が目指す十一中は、一人一人が学校生活や行事一つ一つで活躍できる学校です。今の十一中には積極性が欠けていると思います。それは授業や話し合いの時に挙手する人がほんの少ししかないということです。そのような所をなくすために10月30日の学習発表会を始めとして、持久走大会、三年生を送る会、対面式、体育大会などの行事を盛り上げて一人一人が主役になれるような学校になるよう頑張ります。よろしくお祈りします。

新生徒会本部役員

生徒会長：	山崎 賢太郎（2年B組）		
副会長：	二階堂 舞優（2年B組）	河野 太虎（1年B組）	
書記：	石栗 玲那（2年A組）	大池 悠生（1年B組）	
庶務：	岩崎 将之（2年B組）	加藤 睦美（1年A組）	

前期を持ちまして産休・育休代替として勤務しておりました上遠野 貴道先生が他校へ異動することとなりました。上遠野先生からメッセージが寄せられています。

早いもので私が十一中に来てから1年と半年があっという間に過ぎ去ってしまいました。「まだまだ」と思っていた離任式も終わってしまい、生徒一人一人の手紙に目を通してみると改めて寂しさを感じます。思えば私は生徒の皆さんに助けられてきました。初授業の時は緊張で震えそうでしたが、生徒の皆さんの「人なつっこさ」と「温かさ」に助けられ、行事では何も知らない自分をフォローしたり、教えてくれたり、本当に十一中の素晴らしさに助けられました。これからは授業や課外活動を一緒にすることはできませんが、放課後は「外部顧問指導員」として、女子テニス部の指導に来ますので、よく顔を合わせることもあると思います。何か話したいこと、聞いて欲しいことがありましたら、今までと同じように気軽に話しかけて下さい。保護者の皆様、これまで至らない点など数多くあったことと思います。色々ご迷惑をかけたこともあったと思いますが、温かい目で見てくださいありがとうございます。特に女子テニス部の保護者の方々には、また御迷惑をおかけするかもしれませんが、何卒よろしくお祈りします。（上遠野 貴道）